

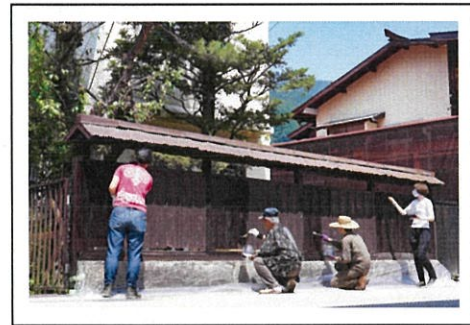
令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩尻市木曾平沢空き家活用事業（「多機能型コミュニティ施設」への改修）		
事業主体 （連絡先）	一般財団法人塩尻市振興公社		
事業区分	（1）地域協働の推進 （6）産業振興、雇用拡大（オ その他）		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	5,439,451	円（うち支援金：	4,109,000 円）

事業内容

産業(漆器)衰退と高齢化・人口減少が著しい塩尻市木曾平沢で空き家を改修し、地域住民と外部の若い世帯を巻き込みながら「多機能型コミュニティ施設」の改修と運営開始に取り組み、地域に暮らす人々の暮らしに貢献できる空き家活用のあり方を実証していく。

- (1)建物の改修
- (2)地域参加型 DIY の実施
- (3)プロモーション活動
- (4)宿泊、滞在備品の購入



【参加型 DIY の様子】

【目標・ねらい】

- ① 地域住民の巻き込み
- ② 若い世代との交流
- ③ 地域協働の土台づくり
- ④ 情報発信と認知向上

事業効果

- (1) 施設利用に支障が伴う構造部分の改修が完了した。
- (2) 地域住民・地域外住民を巻き込んだ参加型 DIY を複数回開催したことによって、地域住民が当該施設を認識し積極的に地域への来訪者に関わるようになった。
- (3) WEB サイト作成、チラシ作成、DIY 等に巻き込んだ人材の発信により「利用したい」との声が集まり、宿泊・時間利用共に稼働が開始された。
- (4) 備品の購入により、不便なく滞在して頂ける環境を整えることができた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・地域協働の土台ができた。
- ・地域内外の住民と若い世代との交流の機会が創出できた。
- ・都市部をはじめとした地域外部から利用予約が入っている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

WEB サイトや SNS を通じた情報発信を継続して続け、定期的に当該施設への利用を気軽に検討できるような周知イベントを開催し、地域に関心の強い若い世代への周知と誘致に取り組む。地域住民・組織・学校関連との連携を強めながら、合わせて新たな遊休物件の掘り起こしを始め地域のポテンシャルを把握する。

結果、ものづくりを志す人、若い世代の移住検討者が増加することが期待される。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある